

わくわくとしょかん

第 135 号(2016 年早春号)編集発行:福島市立図書館児童室 でんわ 531-6551



おはなしかいに
あそびにきてね!

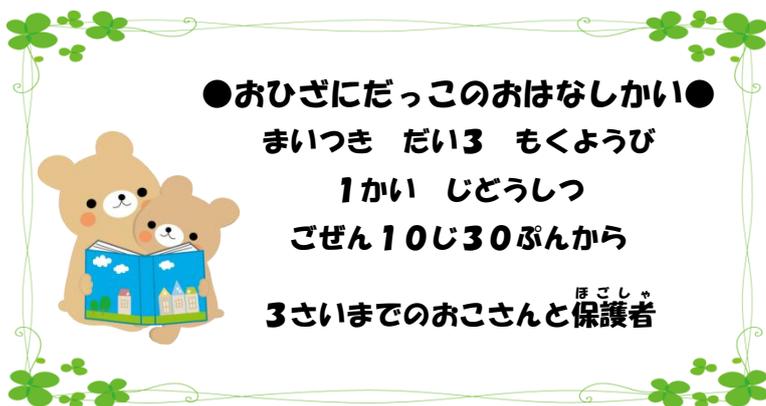
●どようびのおはなしかい●

まいしゅう どようび

1かい じどうしつ

ごご2じから

4さい~しょうがくせい小学生



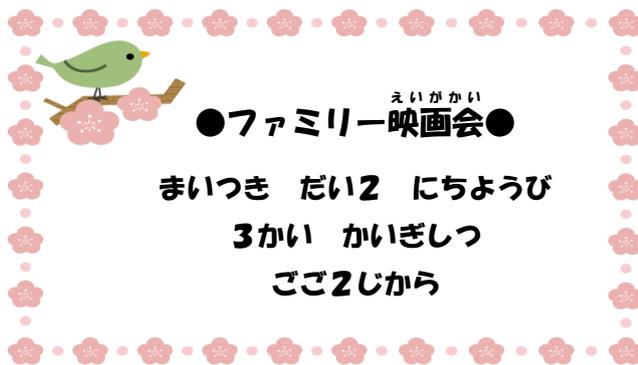
●おひざにだっこのおはなしかい●

まいつき だい3 もくようび

1かい じどうしつ

ごぜん10じ30ぷんから

3さいまでのおこさんとほごしゃ保護者



●ファミリー映画会●

まいつき だい2 にちようび

3かい かいぎしつ

ごご2じから



2月

としょかんカレンダー

3月



日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29					

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

□...しりつとしょかん市立図書館のお休みです。

○...こ子どもライブラリーのお休みです。

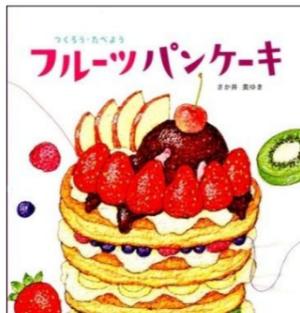
その他の学習センターについては、各図書室にお問い合わせください。





E (えほん)

『フルーツパンケーキ つくろう・たべよう』 (E サカイ)
さか井 美ゆき／絵 ひかりのくに



おいしいパンケーキをつくりましょう。ほかほかのケーキをやいて、たっぷりクリームをぬりましょう。ケーキのうえにはアイスやくだものをどっさりのせて、はなびをかざったらできあがり！

なんと、すべてのページが糸で描かれた食べもの絵本です。

『おうさまのくつ』 (E スロボ)
ヘレン・ビル／文 ルイス・スロボドキン／絵
こみや ゆう／訳 瑞雲舎



あるまちに金色にかがやくりっぱなくつがありました。みんなが王さまはくようなくつだとほめるので、くつはすっかりうぬぼれてしまいました。そしてお店をぬけだし、お城にいる王さまに会いにいきましたが…。

『くれよんがおれたとき』 (E キタム)
かさい まり／作 北村 裕花／絵 くもん出版



さくらちゃんとゆうちゃんは仲よしの友だち。がっこうの絵のしゅくだいをいっしょにかいていたとき、ゆうちゃんがさくらちゃんのたいせつなくれよんをおってしまい…。

あたらしいほん

Y (よみもの)

『キナコ』 (Y913 イトウ)
いとう みく／作 青山 友美／絵 PHP 研究所



キナコはねこだけど、あたしの妹です。なのにママは、もうすぐ赤ちゃんが生まれるから、キナコをおばあちゃんにあずけるっていいいます。そんなのぜったい、やだ！

キナコと家族の、とってもかわいいおはなしです。

『チポロ』 (Y913 スガノ)
菅野 雪虫／作 講談社



ススハム・コタンに住むチポロ。ある日、魔物たちが友達のイレシュを連れ去ります。3年後、手がかりをつかんだチポロはイレシュを助け出すため旅に出ます。アイヌ神話をモチーフにした物語です。

『「エルマーのぼうけん」をかいた女性
ルース・S・ガネット』 (Y930 ガネット)
前沢 秋枝／著 福音館書店



「エルマーのぼうけん」のシリーズを知っていますか。あの長く愛されている物語を書いたのは、楽しいことが大好きでちょっとお茶目なアメリカ人のガネットさんです。ガネットさんがどんな人か、ちょっと覗いてみませんか。



B (そのた)

『のはらキッチンへぜひどうぞ
ーシリーズおしごとのおはなしー』 (B59 マハラ)
まはら 三桃／作 木村 いこ／絵 講談社



のはらキッチンは、さやかのお母がやっている洋食レストラン。月二日、近くの病院で出張レストランをひらいており、さやかもときどきおてっだいしています。おはなしを楽しみながらあこがれの仕事のことがよくわかるシリーズです。

『くだものと木の実いっぱい絵本』 (B62 ホリカ)
ほりかわ りまこ／作 三輪 正幸／監修 あすなろ書房



猫が大好きなくだもの木って？ 白いいちごがあるって本当？ マンゴーはベランダで育てられる？ 身近なくだものから南国のトロピカルフルーツまで、くだものについての知識がたっぷり紹介されている絵本です。くだものを使った料理のレシピ付き。

『プラバンファクトリー
アクセサリーand チャーム』 (B75 イシカ)

いしかわ まりこ／著 ポプラ社



絵をうつしてぬって、切って焼くだけで簡単に作品が作れるプラバン。この本の中ではどうぶつやスイーツのチャームやブレスレットなどの作り方を写真で紹介。世界に1つだけのオリジナルの作品をつくってみよう。



ライオンのほん



『うがいライオン』 (E ハセガ)

ねじめ 正一／作 長谷川 義史／絵 鈴木出版



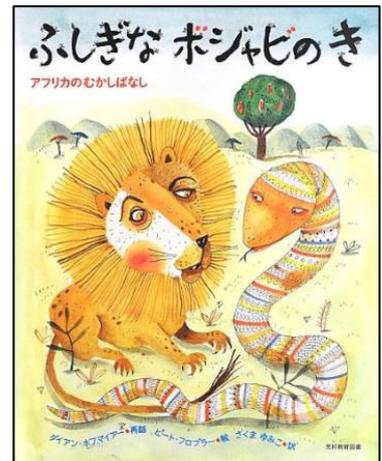
ライオンは、いつも強そうだけど、たまには人を笑わせてみたくなるんです。わざと転んでお客さんを笑わせますが、すべて転ぶライオンなんてライオンらしくないですよ。どうやらライオンも自分らしさをとりもどしたくなったようです。さて、どうするのでしょうか。はくりよくのあるライオンの絵本です。

『ふしぎなボジャビのき』 (E フロブ)

ダイアン・ホフマイアー／再話 ピート・フロブラー／絵
さくま ゆみこ／訳 光村教育図書

おなかのすいたどうぶつたちは、とってもおいしそうなお木の実を見つけました。でも、その木には、大きなへびがまきついていて、木の名前をこたえないと、木の実を食べさせてくれません。

そこで、シマウマが木の名前を知っているというライオンのところへいきますが…。くりかえしがおもしろい、アフリカの昔話です。



『とこやにいったライオン』 (E オクハ)

サトシン／作 おくはら ゆめ／絵 教育画劇



たてがみもつまみさになってしまったライオン。さっそくとこやさんで切ってもらうことにしました。はさみの音を聞いているうちに、ライオンはねむくなって、すやすやいねむりはじめてしまいます。

ライオンがねている間に、とこやさんはハサミをチョキチョキ、ペンキをペタペタ。あれ、なにかおかしいぞ？

『ライオンがいないどうぶつ園』 (Y94 ロドリ)

フレート・ロドリアン／作 ヴェルナー・クレムケ／絵
たかはし ふみこ／訳 徳間書店

ビーネとウリのすむ町に、どうぶつえんができました。ゾウやキリン、シロクマもいるすてきなどうぶつえんに町の人は大喜び。だけど、このどうぶつえんにはライオンがいませんでした。

本物のライオンに会いたいビーネとウリは、町にライオンをつれてこようとがんばりますが、うまくいくのでしょうか。

